

子どもの保健

科目ナンバリング CHS-202
選択 2単位

岸野 美由紀

1. 授業の概要(ねらい)

子どもの保健には、子どもの成長・発達、子どものかかりやすい疾病(病気)と事故、疾病の予防と保健指導、子どもの生活と健康問題、子どもの保健行政などが含まれます。

子どもの成長・発達の特徴を知り、子どもの生理機能を理解した後、生活習慣を含む衛生管理、救急処置を含む事故対策、子どもの疾患に対する処置・予防対策など、子どもの健康で安全な生活を守り育てるための知識を身につけることがこの授業の主な内容です。

講義は日々の生活や職場で役立つような実学中心の内容になっていますので、教育実習・職場実習や研修、将来の子育てに役立ちます。

2. 授業の到達目標

子どもの保健には、子どもの成長・発達、子どものかかりやすい疾病(病気)と事故、疾病の予防と保健指導、子どもの生活と健康問題、子どもの保健行政などが含まれます。

子どもの成長・発達の特徴を知り、子どもの生理機能を理解した後、生活習慣を含む衛生管理、救急処置を含む事故対策、子どもの疾患に対する処置・予防対策など、子どもの健康で安全な生活を守り育てるための知識を身につけることがこの授業の主な内容です。

講義は日々の生活や職場で役立つような実学中心の内容になっていますので、教育実習や研修、将来の子育てに役立ちます。

3. 成績評価の方法および基準

授業毎にリアクションペーパーにて授業を振り返り感想、意見、質問などを記入し提出してもらいます。

15回目の授業でテストを行います。

リアクションペーパーによる授業態度、意欲50%、テスト50%で成績評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

竹内義博・大矢紀 『よくわかる子どもの保健 第3版 ミネルヴァ書房』

参考文献

高橋秀寿監修、問川博之編集 『小児リハビリテーション 評価マニュアル』 診断と治療社

5. 準備学習の内容

授業前にテキストを熟読し、専門用語の意味は調べることで、講義内容の理解が深められます。事前学習をして下さい。

6. その他履修上の注意事項

・講義内容に疑問があれば、授業中や後、リアクションペーパー、メールにて積極的に質問をして下さい。

・授業中の携帯電話やスマートフォンなどの電子機器での通話やメール、ゲーム、写真撮影、録音は禁止します。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション 子どもの保健の概要(小児保健水準、母子保健の歴史など)
- 【第2回】 身体の発達と保健(身長、体重などの計測、評価)
- 【第3回】 子どもの生理機能の発達と保健①(自律神経、体温調節、消化吸収など)
- 【第4回】 子どもの生理機能の発達と保健②(排泄、免疫など)
- 【第5回】 運動機能の発達と保健(新生児期、乳児期、幼児期、学童の運動)
- 【第6回】 精神機能の発達と保健(言葉、社会性、情緒の発達、精神機能の発達評価)
- 【第7回】 子どもの精神保健①(心身症、障害のある子ども)
- 【第8回】 子どもの精神保健②(母親のメンタルヘルス、虐待)
- 【第9回】 子どもの生活(歯の成長、医療的ケアなど)
- 【第10回】 子どもの疾患①(呼吸器、重要な感染症、消化器、循環器)
- 【第11回】 子どもの疾患②(泌尿、生殖器、中枢神経系、代謝、内分泌)
- 【第12回】 子どもの事故、災害への備え、救急蘇生
- 【第13回】 現場で役立つ救急時の対応①(救急時の初期対応など)
- 【第14回】 現場で役立つ救急時の対応②(手足が腫れた時の対応など)
- 【第15回】 まとめ・テスト